



機関誌「なでしこ」は尼崎市内各地域で青少年の健全育成を見守る少年補導委員による情報誌です。
「なでしこ」の花言葉は「注意する・さとす」です。
子どもの頭を撫でながらさとしてもらいたいという願いを込めています。

発行：尼崎市少年補導委員連絡協議会
事務局：尼崎市教育委員会事務局
社会教育課 青少年愛護担当
【所在地】尼崎市三反田町1丁目1-1
【電話】06-6423-8501

～ 阪神南ブロック「三市合同補導」が芦屋市で開催されました ～

令和6年9月19日（木）の午後2時から尼崎市、西宮市、芦屋市の阪神地区3市の少年補導委員による合同補導を実施しました。

当日の天気は快晴で、厳しい暑さの中の見回りでした。尼崎市からは13人の補導委員が参加し、芦屋市が決めた巡回コースを2班に分かれて巡回しました。時間帯的にも、子どもたちは学校の授業中であるため、公園等を見回っても1人も居ない状況でしたが、芦屋市の補導委員の方にどのようなことに気を付けながら巡回を行っているかな等を聞くことができ、有意義な時間となりました。

巡回後は、各グループごとに巡回をした中で気づいたことを報告し合い、各市の状況について情報交換を行い、子どもたちの安全・安心を守るための活動について改めて考える機会となりました。



各地区の活動報告書より

- ・祭礼で多くの中高生が集まっていたが、大人のマナーの悪さが目立つと報告があった。（中央）
- ・汽車ポッポ公園の街灯がなくなったため真っ暗で危険だと感じている。（小田）
- ・武庫川盆踊り 高校生3人が喫煙のため嚴重注意（大庄）
- ・塚口西地域では工事が多く、自転車同士の事故も多いという報告を受ける。（立花）
- ・コンビニ前で中学生が数名たまっていて大声で熱唱して怖いと聞いている。（武庫）
- ・猛暑のためなのか歩いている人も少なく、公園は、静かでした。（園田）

10月・11月の予定

【10月】

第57回兵庫県青少年補導委員大会・研修会が豊岡市で開催され、5年、10年、20年に亘り少年補導委員として活動された方々が、兵庫県知事等から表彰される予定となっています。

今年度の受賞者数は、5年表彰者34名、10年表彰者2名、20年表彰者8名です。

【11月】

こども家庭庁が提唱する「秋のこどもまんなか月間」の取組の一環として、11月1日（金）～11月13日（水）園田東生涯学習プラザ、11月15日（金）～11月27日（水）大庄北生涯学習プラザで非行化防止パネル展の開催を予定しています。

～ 各地区の活動から ～

【中央地区】

少し秋を感じられるようになりましたね。東難波町4丁目であった露出者の件は落ち着きました。ひと安心です。子どもたちは音楽会や図工展と忙しいと思いますが、外に出てたくさん遊んで欲しいです。大人も子どもも夏の疲れがでたりする頃ですよ。食欲の秋です!! よく食べ、よく遊び、よく寝ましょう。補導委員一丸となって、子どもたちが安心して笑顔で過ごせる街にできるよう頑張っていきましょう。

【小田地区】

おだ夏祭りが、ベイコム野球場で開催されました。真夏の暑い中、熱中症も心配されましたが、吹奏楽の演奏、花火大会等、会場一杯に人が集まり、無事に終えることができました。猛暑の公園では、子供たちの姿を見かけませんでしたが、夜の盆踊り、夜店では、大勢の子供たちが集まり、楽しんでいました。夏休みは、無事に終わりましたが、引き続き子供たちが集まる所が、安心安全であるよう、これからも見守り活動を継続していきたいと思っています。

【大庄地区】

盆踊りで夜間補導をしていた際、暗闇の中に小さな明かりを見つけ、すぐにタバコだと確信し、複数人でたむろしている男子生徒に声をかけました。そのうち、1人は補導員が近づくのを見ると慌てて吸っていたタバコを捨てたようですが、もう一人は動じることなくタバコを吸い続けていたとのことです。補導員の「中学生? 高校生?」との問いかけに「高校生」だと答えた。と報告を受けました。

【立花地区】

数は減ったものの、まだ開催される盆踊りも多く、どこも踊り手は少なくなっていますが、出店には沢山人々が集まり盛況に開催されていました。中には公園の遊具の固定や、自転車の誘導などが行き届かないところもあり、地域の主催者に改善をお願いしています。毎年恒例の保護司の方々との懇談会を行った地域では、互いの情報を共有しあい今後の活動に役立つ有意義な機会となりました。

【武庫地区】

先日、公園で私達のピンクベストに興味を持たれたお年寄りに声をかけられました。補導活動の説明をすると、「登下校時に見守りをして気づいたことを手紙に書いているが、学校に自分が持っていけないので届けてほしい」と頼まれました。校長先生にお届けしたところ、子供達の行動を褒めてくれている内容で、喜んでいただきました。子供達を見守っている地域の存在と、学校をつなぐお手伝いができたようで嬉しく思った出来事でした。

【園田地区】

夏休みが終わり、子どもたちは学びの場に戻ります。この時期、安全を確保するために、地域の補導員による見守り活動が重要と考えます。補導員は通学路や公園での子どもたちの安全を見守り、不審者への警戒を強化しています。また、子どもたちが安心して学校生活を送れるように地域全体で支えていく必要があります。2学期を迎えるにあたり、より一層の安全意識を持ち、子どもたちの安全な通学を見守ります。

コラム

普段から現在は外で遊ぶ子どもの姿を昔のように見かけられない状況ですが、今年の夏は毎日のように熱中症特別警戒アラートが発表されて外出まで制限されるような異常な夏でした。さて、その暑い暑い夏が過ぎ待ちに待った秋がやって参りました。2学期は行事もたくさんあり、子ども達にとって心身ともに健康で楽しく又、実り多き毎日であって欲しいと願うばかりです!

編集後記

今年の夏は非常に暑く、昼間に子ども達が公園で遊ぶ姿を見ることも少なかったかと思いますが、夏祭り等では子ども達の姿が多く、賑わっていたのではないのでしょうか。涼しくなると、昼間でも過ごしやすくなるため、活動の場が広がり、危険なことに遭遇しやすくなりますので、たくさんの温かい目で子ども達を引き続き見守っていきましょう。